

初心者のためのやさしい用語集

Windows7を操作するのに欠かせない、基本的なパソコン用語を集めました。わからない用語が出てきたら参照してください。



ア行

アイコン

ファイルやフォルダー、ソフトなどの内容を示す小さなマーク(図柄)のこと。各アイコンはボタンになっていて、ダブルクリックや右クリックをすることで、さまざまな操作をすることができます。

圧縮

ファイルの容量を小さくするための処理のこと。圧縮の方式にはいくつかありますが、Windows7の「圧縮フォルダー」機能では「zip」(ジップ)と呼ばれる方式で、データを圧縮しています。

アップグレード

新しいバージョンのソフトを導入すること。「バージョンアップ」ともいいます。「バージョン」とは「版」のことので、ソフトで仕様の変更が入るたびに新しい管理番号が付加されます。一般的にバージョンが新しいほど機能が優れ、不具合も少なくなります。なお、特に小規模なアップグレードを指して、「アップデート」と呼ぶこともあります。

アップロード

ダウンロードの項目を参照。

アドオン

ソフトにあとから機能を追加するためのプログラムのこと。例えば、Internet Explorerにアドオンを追加することで、動画の表示や検索機能の強化といったことが可能になります。「プラグイン」もアドオンとほぼ同じものです。

アドレス帳

メールの送信に使用するメールアドレスを管理する機能。氏名や勤務先などの情報を登録することもできます。メールを作成する際には、このアドレス帳から指定することで、メールアドレスを簡単に入力できます。

アプリケーション

ソフトの項目を参照。

アンインストール

パソコンにインストールされたソフトを、安全に削除する操作のこと。コントロールパネルにある「プログラム」機能から実行できます。ソフトによっては、アンインストールを行うための専用ソフトが付属しています。

暗号化

他人にファイルの内容を見られないよう、データにプロテクト(保護)をかけること。例えば、無線LANの通信を暗号化しておけば、誰かに電波を傍受されても、ファイルの内容を解読されることはありません。暗号化したファイルを元の状態に戻すことを、「復号化」といいます。

一時ファイル

よく利用するデータをハードディスクの中に一時的に保存するためのファイル。同じデータを利用する際に、高速な読み込みが可能になります。

インストーラー

ソフトのインストールを簡単にするために、ウィザード形式でさまざまな設定を行うプログラムのこと。「セットアッププログラム」ともいいます。

インストール

ソフト(アプリケーション)をパソコンに組み込む作業のこと。ソフトのDVDやCDをパソコンに挿入したり、インターネットからダウンロードしたファイルをダブルクリックしたりすると、インストールを行うためのプログラムが起動します。ソフトを削除することを「アンインストール」、インストールをやり直すことを「再インストール」といいます。

ウィザード

画面の質問に答えながら操作することで、さまざまな設定を簡単に行える機能のこと。ソフトのインストールなどによく使われます。

ウイルス(コンピューターウイルス)

パソコン内に入り込んで、データの破壊や削除を行うなど、パソコンの動作を妨害する悪意あるプログラムのこと。インターネットやメールなどを介してパソコンに感染します。

ウイルス対策ソフト

ウイルスやスパイウェアといった、悪意のあるプログラムからパソコンを守るソフトです。それらの感染を防ぐだけでなく、個人情報の漏えいを防ぐ機能を搭載したものもあります。代表的なものに、「ウイルスバスター」「ノートン・インターネットセキュリティ」などがあります。

ウィンドウ

作業中のソフトやフォルダーの内容が表示される、枠

付きの画面のこと。Windowsでは、作業ごとにウィンドウが表示され、それぞれ移動したり、サイズを変更したりすることが可能です。現在作業を行っているウィンドウを、「アクティブウィンドウ」といいます。

エアロ

Windows Vistaから搭載されたデスクトップ機能の総称。ウィンドウの枠が透明に表示されるのが特徴です。Windows7では、ウィンドウを左右に振ることで、アクティブウィンドウ以外を最小化する「エアロシェイク」などの機能が追加されています。

エクスプローラー

Windows7に標準で搭載されているファイルやフォルダーの管理ソフト。フォルダーを開いたときの画面（ウィンドウ）と考えればわかりやすいかもしれません。ファイルやフォルダーをコピー／移動したり、削除したりといった操作を行うことができます。

お気に入り

よく見るホームページのURLをブラウザに記録する機能。「ブックマーク」ともいいます。お気に入りに登録しておくことで、見たいページをすぐに呼び出せるようになります。IE9では複数のホームページを「タブグループ」として、まとめてお気に入りに登録することもできます。

カ行

カーソル

文字の入力位置を示すために点滅している記号。キーボードのキーを押すと、カーソルのある位置に文字が入力されます。

解凍

圧縮されたファイルを元の状態に戻すこと。「展開」や「伸縮」ともいいます。

拡張子

ファイルの種類を識別するための文字列。「メモ.txt」（テキストファイル）や、「請求書.docx」（Wordファイル）のように、「ファイル名.拡張子」の形式で表示されます。

ガジェット

デスクトップ上で動作する小さなプログラムのこと。Windows7には時計やカレンダーなどが付属しているほか、インターネットからも入手できます。

カスタマイズ

ユーザーの好みに合わせて、Windowsの設定を変更したり、ソフトウェアの追加や削除などを行うこと。

起動

パソコンやソフトを使用可能な状態にすること。機器の電源を入れたり、「スタート」メニューなどにある項目をクリックし、ソフトの画面を呼び出すこと。

共有

ネットワーク上のパソコン間で、フォルダーやプリンターなどを、ほかのパソコンからも使えるようにすること。共有したフォルダー内のファイルを編集したり、新しいファイルを作成したりすることもできます。

クリック

マウスの左ボタンを「カチッ」と1回押す操作のこと。主にファイルやフォルダーの選択や、画面のボタンなどを押す操作に使います。

言語バー

Windows7に付属の日本語入力システム「IME」を利用するためのツールバーのこと。入力する文字の種類を切り替えたり、新しい単語を登録したり、文字入力に関するさまざまな設定を行います。

光学ドライブ

DVDやCD、BD（ブルーレイディスク）を読み書きするためのドライブの総称です。DVDなどのメディアは、データの読み書きにレーザー光を使うため、このように呼ばれます。

ごみ箱

不要になったファイルやフォルダーを一時的に保管する場所のこと。ごみ箱の中にあるデータは、いつでも復元することができます。

コントロールパネル

Windowsの設定を変更する機能を集めた画面。機能の種類ごとにカテゴリー分けされており、目的の機能を簡単に見つけられるようになっています。コントロールパネルを開くには、「スタート」メニューの「コントロールパネル」をクリックします。

サ行

サーバー

複数のパソコンに対して、ネットワークを介してさまざまな機能やサービスを提供するコンピューターのこと。

再起動

Windowsをいったん終了させて、起動し直すこと。設定を変更したり、新しいソフトや周辺機器のドライバーをインストールしたりしたあとは、再起動を促す画面が表示される場合があります。

サインイン

ログオンの項目を参照。

サムネイル

ファイルの内容を縮小表示した画像のこと。

シャットダウン

Windows7を終了してパソコンの電源を切る操作。

周辺機器

マウスやキーボード、外付けハードディスクなど、パソコンに接続して使用する機器の総称です。

常駐ソフト

Windows7の起動時に自動で起動するソフトのこと。起動直後からソフトや機能を使うことができます。主なソフトには、ガジェットや日本語入力ソフト、ウイルス対策ソフトなどがあります。

ショートカット

ファイルやフォルダー、ソフトの分身のことです。例えば、フォルダーのショートカットをデスクトップに作っておくと、ショートカットをダブルクリックするだけでフォルダーが開きます。また、ショートカットは分身なので、削除しても本体に影響はありません。

ショートカットキー

キーボードのキーを押して特定の操作を行うこと。または、そのためのキーの組み合わせ。マウスを使うよりも短時間で操作できるのが特徴です。例えば、フォルダーからファイルを削除しても、CtrlキーとZキーを押すだけで、ごみ箱から元に戻すことができます。

スパイウェア

ホームページの閲覧履歴や個人情報などを、ユーザーに無断で外部に送信するソフトのこと。

スライダー

左右または上下にドラッグすることで、さまざまな設定を変更できるつまみのこと。音楽プレイヤーのボリューム調整や、画像編集ソフトの明るさ調整などに用いられます。

スリープ

パソコンの操作を一時的に停止させ、省電力状態にして待機させること。作業状態が保持されるので、すぐに作業を再開できます。スリープを解除するには、マウスのボタンやキーボードのキーを押します。

セーフモード

必要最小限の機能のみを組み込んで、Windowsを起動する方法のこと。トラブルなどにより、通常の起動ができない場合は、このセーフモードで起動してからシステムの修復を試みます。

セキュリティキー

無線LANの利用において、暗号化された通信内容を復元するためのパスワードです。「暗号化キー」または「ネットワークキー」と呼ぶこともあります。

セキュリティホール

WindowsやInternet Explorerなどには、開発時に見過ごされてしまったプログラム上の問題点や欠陥が、製品発売以降も残っていることがあります。そのうち、セキュリティ上問題のあるものを「セキュリティホール」といいます。開発元のMicrosoft社では、セキュリティホールを修正するための更新プログラムを、「Windows Update」で配布しています。

外付けハードディスク

USBケーブルなどで接続するハードディスクのこと。内蔵タイプに比べて値段は高いものの、接続が簡単で、持ち運びができるなどのメリットがあります。

ソフト

パソコンで何らかの作業をするためのプログラムの総称。「アプリケーション」ともいいます。「Excel」や「Word」もソフトの一つです。

タ行

ダイアログ

データの入力や選択、設定を行うことを促すために表示されるウィンドウ。通常は、ほかのウィンドウよりも手前に表示されます。

ダウンロード

インターネット上のファイルを、自分のパソコンにコピーすること。ホームページに表示されている「ダウンロード」などのボタンをクリックすることで、ファイルをダウンロードすることができます。ダウンロードとは逆に、自分のパソコンからインターネットにファイルをコピーすることを、「アップロード」といいます。

タグ

ファイルに付加することができる情報の一つ。ファイルを識別するための単語や語句(キーワード)を設定することで、ファイルを整理、検索するのに役立ちます。

タスク

パソコンが実行する処理の単位のこと。動作しているソフトも一つのタスクになります。Windows7は、複数のタスク(複数のソフト)を同時に処理できるため、「マルチタスク」と呼ばれています。

タスクバー

デスクトップの下に表示されている横長のバーのこと。起動中のソフトや開いているフォルダーをボタンとして表示する領域です。タスクバーに表示されているボタンのことを「タスクバーボタン」といいます。

タスクマネージャー

使用中のソフトの状態や、パソコンの動作状況などを

管理できるツールのこと。応答しなくなったソフトを強制的に終了する機能もあります。

タブ

Internet Explorerにおいて、一つのウィンドウ内で複数のホームページを表示するための機能のこと。タブをクリックすることで、表示するホームページを切り替えることができます。新しいタブにリンク先のホームページを表示することも可能です。

ダブルクリック

マウスの左ボタンを「カチカチッ」とすばやく2回押す操作のこと。主に、ファイルやフォルダーを開くときにダブルクリックをします。ファイルをダブルクリックした場合は、ファイルの内容を読み込んだ状態で、対応したソフトが自動的に起動します。

通信速度

パソコンとインターネットなどの間で、データを送受信するときの速度のこと。単位は「bps」(ビットパーセカンド)で、この値が大きいほど短時間で大量のデータを送受信することが可能です。1,000倍ごとに単位の前に付く文字が変わっていきます。1,000bpsで「1Kbps」(キロbps)／1,000Kbpsで「1Mbps」(メガbps)／1,000Mbpsで「1Gbps」(ギガbps)

通知領域

タスクバーの右端にある、時計やソフトのアイコンなどを格納するスペースのこと。

テキスト

フォントの種類や色、大きさなどの修飾情報を持たない、純粋な文字データのこと。「メモ帳」などで作成したファイルは、テキスト形式で保存されます。

デスクトップ

Windows7を起動したときに最初に表示される画面。よく使うソフトやファイル、フォルダーを開いたりするための作業領域です。

デバイスマネージャー

パソコンに接続された周辺機器などが、正しく動作しているかを確認し、問題があれば修正できる画面です。不用意に変更すると、パソコンが不調になることもあるので、慎重に操作する必要があります。

テンキー

キーボード右端にある、数字や算術記号の並んだキーのこと。デスクトップ用のキーボードに特有のキーで、小型のノートパソコンでは省略されることもあります。

添付ファイル

電子メールの本文と一緒に送信するファイルのこと。デジカメで撮影した写真、WordやExcelで作成した文書などを添付ファイルとして送ることができます。添

付ファイルを送る際には、ファイルの容量に注意する必要があります。プロバイダーによって制限がかかっている場合が多いからです。

ドライバ

Windowsが周辺機器を制御するためのプログラム。「デバイスドライバ」ともいいます。Windows7は一般的な周辺機器のドライバを内蔵しているので、接続するだけですぐに使える機器がたくさんあります。ドライバが内蔵されていない機器を使うときは、機器に同梱されているCDなどから、ドライバをインストールする作業が必要です。

ドライブ

データを書き込んだり、読み出したりする装置のこと。パソコンには、「ハードディスクドライブ」や「光学ドライブ」などが搭載されていますが、それぞれデータの保存方法や保存できる容量が異なります。

ドラッグ&ドロップ

場所を移動したい対象にマウスポインターを合わせ、マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす(ドラッグ)と対象が移動し、ボタンから指を離す(ドロップ)と、位置が確定します。この一連の動作がドラッグ&ドロップです。主にファイルやフォルダー、ウィンドウの移動に使います。

④ 行

ネットワーク

複数のパソコンや周辺機器をケーブルなどにより接続すること。家庭などの限られた範囲のネットワークを「LAN」(ラン)と呼びます。

ネットワークアダプター

インターネットやLANに接続するために必要な機器のこと。「LANアダプター」ともいいます。

⑧ 行

バージョンアップ

アップグレードの項目を参照。

ハードウェア

パソコンの本体や周辺機器などの物理的な装置を、ソフトウェアと対比して「ハードウェア」と呼びます。

ハードディスクドライブ(HDD)

データを保存する装置のこと。記憶できるデータ容量を「GB」(ギガバイト)や「TB」(テラバイト)という単位で表し、数値が大きいほどたくさんのデータを保存できます。「スタート」メニューの「コンピューター」でパソ

コンに搭載されているハードディスクドライブが確認できます。複数台を搭載する機種もあり、1台目が「C」、2台目が「D」のように、アルファベットでラベルが割り当てられています。

ハイビジョン

従来のアナログテレビ放送や映画DVDよりも、高画質な映像のことです。

パス

ファイルやフォルダーが、パソコン内のどの場所に保存されているかを表す文字列です。例えば「マイドキュメント」フォルダーに保存されたファイルは「C:\Users\Gakken Taro\Documents」のように表されます。

バックアップ

データやプログラムのコピーを取って、別の場所に保存すること。ウイルスに感染したり、ファイルが壊れたりなどといった、万が一のトラブルに備えます。

光接続

光ファイバーを利用したインターネット回線のこと。100Mbps～1Gbpsの通信速度で利用できます。

ファイアウォール

インターネットに接続されているパソコンを、不正アクセスなどから守るセキュリティ機能のこと。

ファイル

ワープロソフトで作った文書や、そのワープロソフトを動かすためのプログラムといった、「データのまとまり」のこと。フォルダーを除いた一つのアイコンが、それぞれ1ファイルと考えるとよいでしょう。

フィッシング詐欺

正規のサービスを提供するホームページを装い、ユーザーアカウントやパスワード、クレジットカード番号などの情報を不正に取得する犯罪のこと。インターネット銀行や、クレジットカード会社の名前を騙ることが多く、ホームページの外観も本物そっくりなのが特徴。Internet Explorerに搭載される「SmartScreenフィルター」機能では、フィッシング詐欺として報告されているページを開くと、警告メッセージが表示されます。

フォーマット

USBメモリやハードディスク、DVDなどにデータを保存できるようにする処理のこと。無地のノートに書き込み用の罫線を用意するような作業と考えてください。すでに利用中のUSBメモリやハードディスクをフォーマットすると、保存してあるデータは消えます。

フォトギャラリー

「Windows Live フォトギャラリー2011」の略で、Windows7に標準で搭載されている写真管理ソフトの

こと。パソコン内の写真をスライドショーで閲覧したり、美しく修整したりする機能を備えています。

フォルダー

ファイルを整理するための仮想的な箱。フォルダーには自由に名前を付けることができます。また、フォルダーの中にさらにフォルダーを作成することで、ファイルを階層的に管理することもできます。

フォント

パソコンで利用する文字の書体のこと。「明朝体」や「ゴシック体」「ポップ体」など、多くの種類があり、用途に応じて使い分けることができます。

復元

トラブルが発生してパソコンが正常に動作しなくなった場合に、元の状態に戻すことをいいます。

不正アクセス

他人のパソコンにインターネット経由で侵入し、データを持ち出したり、改ざんしたりする行為のこと。

ブックマーク

お気に入りの項目を参照。

ブラウザ

ホームページを閲覧するためのソフト。Windows7には、「Internet Explorer」(IE)というブラウザの「バージョン9」が標準で搭載されています。

プラグイン

アドオンの項目を参照。

フリーソフト

インターネットから自由にダウンロードして、無料で使用できるソフトのこと。料金が必要なタイプは「シェアウェア」といいます。

フレーム

ホームページの画面を複数のエリアに分割するしくみのこと。よく使われるのが、ページの左側にメニューを表示し、その中の項目をクリックすると、ページの右側に内容が表示されるというもの。どのページを表示していても、左側のメニューを常に表示できるため、複数のページを効率よく閲覧できます。

プレビュー

完成イメージを事前に表示し、チェックするための機能。実際に印刷をする前に、印刷結果を確認できる「印刷プレビュー」などがあります。

ブログ

作成するための特別な知識を必要とせず、文章や写真などが簡単に投稿できる日記形式のホームページ。ホームページを意味する「ウェブ」(Web)と、記録を意味する「ログ」(log)という二つの単語をつなげた「ウェブログ」が、短縮されて定着した言葉です。

プロバイダー

インターネット接続サービス事業者のこと。「ISP」(Internet Service Provider)ともいいます。現在は、インターネット接続サービスだけでなく、インターネットを使ったテレビ配信、迷惑メール対策など、さまざまなサービスを提供しています。なお、Windows7では、インターネットで検索サービスを提供する事業者を「検索プロバイダー」と呼んでいます。混乱しないように注意してください。

プロパティ

ファイルなどが持つ、基本的な情報や属性のこと。容量や更新日時、作成者の名前などがプロパティに含まれます。

ヘッダー

ページの先頭に付加される文字情報のこと。ページ数やファイル名、印刷日時などをヘッダーに記入すると、印刷後の閲覧や整理などに役立ちます。ページの末尾にある文字列は、「フッター」といいます。

ホームページ

ブラウザを起動すると同時に表示されるページのこと。よく見るページをホームページとして登録しておくと、「ホーム」ボタンをクリックするだけで、いつでも表示することができます。また、一般的なWebサイトのことをホームページと呼ぶこともあります。

保存

作成した文書などをあとから利用したり、編集したりできるようにファイルとして残しておくこと。最初に保存するときは「名前を付けて保存」を行います。一度保存したファイルの名前をそのままに、中身だけを変更して保存するときは「上書き保存」を行います。

ポップアップ

インターネット上で特定のページを開くと同時に、別の新しいウィンドウが開くしくみのこと。この部分には、違法な商品を宣伝する広告が表示されることもあり、Internet Explorerにはポップアップを表示させない機能もあります。



マウスポインター

マウス操作に連動して画面上を移動するマークのこと。操作するファイルやウィンドウを指し示すためのものです。通常は矢印ですが、作業状態によって形が変化します。例えば、ホームページ上で別のページへのリンクを選んだときは指の形に変わります。「マウスカーソル」ともいいます。

右クリック

マウスの右ボタンを一回「カチッ」と押すこと。ファイルやフォルダーを開かなくても、メニューを表示するための操作です。表示されるメニューを「右クリックメニュー」または「コンテキストメニュー」といいます。

ムービーメーカー

「Windows Liveムービーメーカー2011」の略で、Windows7に標準で搭載されている動画編集ソフトのこと。動画から不要な部分をカットしたり、動画と動画の順番を入れ替えたりといった機能を備えています。

無線LAN

ケーブルを使用せずに、電波を使ってパソコンどうしをつなぐLANのこと。

無線LANアダプター

パソコンに無線LANの機能を追加するための機器。USBで接続するタイプと、PCカードで取り付けるタイプがあります。無線LAN対応のノートパソコンには、あらかじめアダプターが内蔵されています。

無線LANルーター

パソコンを無線LAN経由でインターネットに接続したり、パソコンどうしをつないだりするのに必要な機器のこと。パソコン側には、無線LANアダプターを用意する必要があります。なお、無線LANルーターを「親機」、無線LANアダプターを「子機」と呼ぶこともあります。

迷惑メール

何らかの方法で手に入れた電子メールアドレスに、営利またはいたずら目的で送られてくるメールのこと。「スパムメール」とも呼ばれます。Windows7で標準的なメールソフト「Liveメール」には、迷惑メールを自動で判別して、「迷惑メール」フォルダーに隔離する機能が備わっています。

メールアカウント

契約したプロバイダーのメールサーバーに接続するための使用権のこと。メールソフトにメールアカウントを設定することで、電子メールを送受信できるようになります。

メールアドレス

電子メールを送る際の宛先になるもの。手紙の場合の住所にあたります。プロバイダーと契約すると、メールアドレスが手に入ります。通常、「〇〇〇@×××.ne.jp」の形式をとり、「〇〇〇」の部分には利用者任意の文字列が、「×××」にはプロバイダー名が入ります。

メールサーバー

電子メールの処理を行うサーバーのこと。パソコンから送信された電子メールは、このメールサーバーを経由して宛先に届けられます。

メールソフト

電子メールを送受信したり、送受信したメールを管理するために使用するソフトのこと。「メーラー」ともいいます。Windows7には、「Windows Liveメール」(Liveメール)というメールソフトの「バージョン2011」が一般的に搭載されています。

メールボックス

メールサーバーに届いたメールが保存されるスペース。ユーザーが受信操作を実行するまで保存されます。

メモリ

データを一時的に保存する機器のことで、パソコンに内蔵されています。パソコンの電源を切ると、メモリ内の内容は消去されます。

ユーザーアカウント

パソコンやインターネットのサービスを利用するための権利や、権利を持った利用者、または権利を利用するために必要な名前のことです。単に「アカウント」や、「ユーザーID」ともいいます。



容量

ファイルやフォルダーのデータ量、または、ハードディスクやDVDに保存できるデータ量のことを指します。パソコンでは、半角1文字分のデータ量を「1Byte」(バイト)という単位で表します。半角1,024文字分、つまり1,024バイトが「1KB」(キロバイト)です。単位は、以下のように変わっていきます。1,024KBで「1MB」(メガバイト)／1,024MBで「1GB」(ギガバイト)／1,024GBで「1TB」(テラバイト)



ライブラリ

Windows7から搭載されたファイル管理機能のこと。ライブラリに登録されたフォルダー内のファイルやフォルダーを、ライブラリ上でまとめて管理することが可能です。「ドキュメント」「ピクチャ」「ビデオ」「ミュージック」というライブラリがあらかじめ用意されており、それぞれ「マイドキュメント」「マイピクチャ」「マイビデオ」「マイミュージック」フォルダーと、「パブリック」フォルダーが登録されています。

リカバリ

パソコンを初期化して、購入時の状態にまで戻すこと。長期間の利用によって蓄積された不具合を、まとめて解決するのに有効な手段です。ただし、保存したファ

イルや追加したソフトなども削除されるので、事前のバックアップは必要です。

リカバリディスク

パソコンを購入時の状態に戻すために使うリカバリ用のCDのこと。

リボン

「Word」や「Excel」などのソフトの画面上で、操作に必要なボタンが表示されるスペースのこと。ソフトの機能が操作の内容ごとに「タブ」で分類されており、それぞれのリボンには、ボタンが目的別の「グループ」に分かれて配置されています。タブをクリックすることで、使用するリボンを切り替えます。

履歴

過去に訪れたホームページを、時系列などでまとめたリストのこと。

リンク

ホームページやメールの文字列、または、画像などに埋め込まれているほかのファイルの位置情報のこと。リンクがある部分をクリックすると、リンク先として指定されているページや画像を開くことができます。

ルーター

インターネットやLANに接続するために必要な機器のこと。ルーターを経由することで、複数のパソコンでインターネットに接続したり、パソコンどうしてファイルを共有することが可能になります。

レジストリ

Windows7のシステムやソフトの設定情報が記録されているデータベースです。保存したファイルの状態から、コントロールパネルの設定まで、さまざまな情報がレジストリに記録されています。

ローカルディスク

パソコンに内蔵されたハードディスクのこと。複数ある場合は、「C」や「D」などのラベルを付けて区別されます。なお、「C」のローカルディスクには、Windowsやソフトをインストールし、「D」のディスクには自分で作成したファイルを保存するのが一般的です。

ログオフ

パソコンやインターネット上のサービスの利用をいったん中止するために、ログオン状態を解除すること。「ログアウト」ともいいます。

ログオン

パソコンやインターネット上のサービスを利用するために、認証を得ること。ログオンには、ユーザーアカウントとパスワードが必要です。「ログイン」や「サインイン」ともいいます。

アルファベット

BCC(ビーシーシー／ブラインド・カーボン・コピー)

複数の宛先に同じ内容のメールを同時送信するための機能。BCCに指定された宛先は、ほかの受信者には通知されません。誰に対してメールを送信したのかを知られたくない場合に利用します。

Bluetooth(ブルートゥース)

ヘッドセットなどの周辺機器や、スマートフォンとの接続に用いられる無線通信の一つ。一般的な無線LAN(Wi-Fi)よりも、手軽に接続できるのが特徴です。ただし、電波の届く範囲がやや狭く、データの転送にも時間がかかります。

Blu-ray(ブルーレイ)

DVDの後継にあたる記録メディア。最大100GBものデータを保存できるため、容量が大きいハイビジョン映像の録画に適しています。データの書き替えや削除ができないBD-Rや、書き替え・削除が可能なBD-REなどがあります。

BMP(ビットマップ)

画像を保存するファイルの形式の一つ。画像を劣化させることなく保存できる反面、容量が大きくなるのが特徴です。

bps(ビットパーセカンド)

通信速度の項目を参照。

CC(シーシー／カーボン・コピー)

複数の宛先にメールを同時送信する機能。本来の相手以外に同じ内容のメールを送信するときに利用します。CCに指定した宛先は、全受信者に通知されます。

CD(シーディ)

円盤状の記録メディア。データの書き込みはできても、書き換えや削除はできないCD-Rと、データの書き込みのほか、書き換えや削除が可能なCD-RWがあります。1枚の記録容量は650MBまたは700MBが主流です。

Cookie(クッキー)

ホームページの利用者を識別する目的で、パソコンに保存されるファイルのこと。ページの閲覧日時やアクセス数、会員情報などが記録されます。

CPU(シーピーユー)

パソコンの頭脳にあたる部品で、マウスやキーボードから与えた命令を実行し、処理を行います。高性能なCPUほど短時間で処理を終えられるため、待ち時間が少なく、快適にパソコンを使うことができます。

DVD(ディーブイディー)

円盤状の記録メディア。CDに比べて大容量のデータを記録できます。1枚の片面に4.7GBのデータを記録できるタイプや、両面に9.4GB記録できるタイプがあ

ります。一度だけ書き込みが可能なDVD-R／DVD＋R、書き換えが可能なDVD-RW／DVD＋RWやDVD-RAMなどがあります。

Excel(エクセル)

Microsoft社の統合ソフト「Microsoft Office」に含まれる、もっとも普及している表計算ソフト。表計算ソフトとは、縦横に並んだマス目のなかに数値や計算式を入力すると、自動で計算結果を表示してくれるソフトで、見積書や請求書の作成などに用いられています。

Flash(フラッシュ)

音声やアニメーションを組み合わせるホームページのコンテンツを作成するソフト。または、それによって作成されたコンテンツ。Internet ExplorerでFlashコンテンツがあるホームページを開くと、閲覧に必要な「Flash Player」というソフトをインストールできます。

GB(ギガバイト)

容量の項目を参照。

HTML(エイチティーエムエル)

ホームページを作成するためのプログラム言語のこと。フォントの大きさや色、画像の配置などを、文字列による記述で指定できます。

HTML(エイチティーエムエル)メール

ホームページと同じくみで作成されたメールのこと。文字色やサイズの変更、画像の貼り込みなどができ、メールを自由に装飾できます。

IEEE(アイトリプルイー)1394

パソコンに周辺機器をつなげるときの接続規格の一つ。デジタルビデオカメラとの接続に使われることが多い規格です。

Internet Explorer(インターネットエクスプローラー)

ブラウザの項目を参照。

IME(アイエムイー)

Windows7またはMicrosoft Officeに付属する日本語入力システムのこと。Windows7に付属するものを「Microsoft IME」といい、Microsoft Officeに付属するものを「Microsoft Office IME」といいます。Microsoft Officeのソフトがパソコンに入っていると、後者がインストールされています。使い方はほとんど変わりません。IMEを使用するためのツールバーを「言語バー」といいます。

IP(アイピー)アドレス

ネットワークに接続されたパソコンに割り当てられる識別用の番号。「192.168.0.1」や「2001:0:4137:9e76:38fa:1b6d:3f57:fffc」のように、半角英数字を並べて表現されます。

JPEG(ジェイペグ)

画像を保存するファイル形式の一つ。インターネットやデジカメでは、標準的に使われている形式です。圧縮して保存するため、BMP形式に比べて容量が小さくなるのが最大の特徴です。デメリットは、圧縮するため画質が劣化する点です。

LAN(ラン/ローカルエリアネットワーク)

ケーブルや電波によって、パソコンどうしをつなぐくみのこと。インターネットへの接続のほか、ファイルやプリンターの共有などが行えます。パソコンどうしを電波でつなぐLANを「無線LAN」、ケーブルでつなぐLANを「有線LAN」といいます。

Live(ライブ)メール

メールソフトの項目を参照。

MAC(マック)アドレス

LANなどのネットワークでは、MACアドレス(例: 00-40-CA-6E-34-72)をもとに、パソコンなどの機器が識別されます。パソコンに割り当てられる、固有のIDと考えましょう。

MB(メガバイト)

容量の項目を参照。

Microsoft Office(マイクロソフトオフィス)

「Excel」「Word」「PowerPoint」など、Microsoft社のビジネス用ソフトの総称。または、これらのソフトを一つにまとめたパッケージ製品のことで。

Microsoft Update(マイクロソフトアップデート)

Microsoft Updateは、Windows Updateを包括したサービスです。Windows7だけでなく、ExcelやWordなどのOffice製品にも、不具合の修整や新機能の追加を行う更新プログラムを適用することが可能です。

OS(オペレーティングシステム)

パソコン本体や周辺機器を制御して、ユーザーが操作できるようにするプログラムのこと。パソコンの基本機能を提供することから、「基本ソフト」とも呼ばれます。多くの個人向けパソコンには、Microsoft社のOS「Windows」が組み込まれています。

PC(ピーシー)カード

主にノートパソコンで用いられる、カード型の周辺機器のこと。無線LANに接続するための「無線LANカード」や、携帯電話につないでインターネットを利用する「データ通信カード」などがあります。

PDF(ピーディーエフ)

どのパソコンで見ても、書体やレイアウトが変わらない文書ファイルの形式。製品カタログの配布などでよく利用されます。PDFを見るには、アドビ社が無料配布している「Adobe Reader」というソフトが必要です。

POP(ポップ)サーバー

電子メールを受信して、宛先のパソコンに転送するメールサーバーのこと。メールソフトにメールアカウントを設定する際には、このサーバーのアドレスを入力する必要があります。

PowerPoint(パワーポイント)

Microsoft社の統合ソフト「Microsoft Office」に含まれる、もっとも普及しているプレゼンテーションソフト。会議などで使用する資料を、グラフや写真、音楽、動画を交えながら、スライド形式で作成することができます。プロジェクターを利用し、作成した資料をスクリーンに投影しながらプレゼンテーションを行うこともできます。

Service Pack(サービスパック)

Windowsに新機能を追加したり、不具合を修正する「更新プログラム」をまとめたもの。Windows Updateにより、自動でインストールされます。

SMTP(エスエムティービー)サーバー

パソコンが送信したメールを、POPサーバーに転送するメールサーバーのこと。メールソフトにメールアカウントを設定する際には、このサーバーのアドレスを入力する必要があります。

SSID(エスエスアイディ)

無線LANの電波に付ける名前のようなもの。電波と電波を区別し、混信を防ぐための目印となります。

SSL(エスエスエル)

データを暗号化して、第三者が閲覧できないようにするしくみ。ネットショップやネット銀行のホームページでは、個人情報やクレジットカード情報、パスワードを送信するときに利用されます。

TB(テラバイト)

容量の項目を参照。

URL(ユーアールエル)

インターネットで公開されている情報(ホームページや画像)を指し示す住所のようなもの。ホームページアドレスとして表記される、「http://www.gakken.co.jp/」などの文字列がURLです。

USB(ユーエスピー)

パソコンに周辺機器をつなげるときの接続規格の一つ。パソコン本体の電源を入れたまま、機器の取り付けや取り外しができる簡単さが特徴です。現在市販されている周辺機器のほとんどはUSB接続タイプなので、必要なときだけつないで、使い終わったら取り外すことができます。

USB(ユーエスピー)メモリ

パソコンのUSB端子に差し込んで使う記録メディア。大きさは、100円ライターとほぼ同じなので、データを持ち運ぶのに便利です。

WEP(ウェッブ)

無線LANで用いられるセキュリティ方式の一つです。無線の電波を傍受されないように、データを暗号化して送信します。

Windows(ウィンドウズ)

Microsoft社が開発した、世界でもっとも普及しているOSシリーズの名称です。

Windows Live Essentials

(ウィンドウズライブエッセンシャルズ)

「Windows Live Essentials」は、Liveメールやフォトギャラリー、ムービーメーカーといった複数のソフトのセットです。Microsoft社のホームページから無料でダウンロードすることができます。

Windows Update(ウィンドウズアップデート)

Windows7やInternet Explorerなどの不具合を修整したり、新機能を追加したりする更新プログラムを、インターネットを通じてパソコンに適用するためのサービス。セキュリティ上の不具合である「セキュリティホール」は、個人情報を盗まれるなどの様々な危険につながるため、Windows Updateで修整する必要があります。Windows Updateは通常、自動で実行されます。

WMA(ダブルユーエムエー)

Windows Media Playerで再生可能な音声ファイル形式の一つ。ファイルサイズを落としても、音質がそれほど劣化しないのが特徴です。

Word(ワード)

Microsoft社の統合ソフト「Microsoft Office」に含まれる、もっとも普及しているワープロソフト。ワープロソフトとは、文書作成や装飾、レイアウトなどを行うためのソフトです。「ワード」では、チラシや案内状などを作成することができます。